

ここ数年、ペットブームで犬や猫を飼う人が増えています。愛犬にお洋服を着せるなど、

家族の一員のように可愛がる光景もよく見かけるようになりました。

核家族が進んだいまの世の中では、

高齢者だけで暮らす家庭にとってもペットはかけがえのない存在。

でも健康上の理由などで、世話を続けることができなくなるケースも増えています。

今回ご紹介するのは、そんな悩みを抱えた高齢者からペットを引き取り、

世話を引き受けるボランティア団体を起こした白井さん。

いま、私たちの暮らす社会がどんな問題を抱えているのか、一緒に考えませんか。



白井睦子

Mutsuko Shirai

動物の命はもちろん大切。でも何よりも…
困っているお年寄りの
心を助けたいんです。



“ペットの世話がもうできない”
高齢ならではのやむをえない事情
を放っておけなくて。

ペットの美容室&ホテルを経営している白井さんが、高齢者の愛犬をひきとる活動を行うボランティア団体「日本ドッグホーム協会」を立ち上げたのは今から3年前。そのきっかけは？「ペットサロンの常連のお客様の中に高齢のご夫婦がいて、ゴールデンレトリバーなど犬を3頭飼っていたんですけど、ご主人が亡くなられ、犬の散歩や世話ができなくなって困っていると相談されました。それで世話を請負うペットシッターとしてお宅へ通うようになったんです。その後ご婦人も体調を崩し、入退院を繰り返すように。当初は店のホテルで預かっていたのですが、やがてその方も亡くなられて。犬たちを引き取りにきた息子さんは犬が好きではない方で。このまま引き渡せば保健所に連れて行かれ薬殺されるのでは…そんな予感がサッと走りました。生前ご婦人からは、あの子達を頼みます」と何度も言われていたこともあって、私が引き取ることにしたんです。ずっと面倒を見てきたから当然、犬にも愛着がありましたし。それが高齢者とペットの問題を考えるように、



30

輝いている人に会いたい

静岡の女性たち

SHIZUOKA WOMEN